

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号0243
評価年度令和 6年度
所属2301
事務事業番号00261

進捗区分
評価完了
消防局消防総務課
消防音楽隊事業

所属長名
記入者
吉村 紀男
山本 啓二

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023	消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001	消防力の充実				
事務事業	015	消防音楽隊事業				
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分		対象外		
根拠法令等	大津市消防音楽隊規程					
事業概要	(事業概要) 消防音楽隊の活動を通して、広く市民に防火防災に関する広報活動と啓発活動を展開するとともに、大津市の防災まちづくりを推進する手法の一つとして、音楽隊演奏により安心、安全に暮らすことのできるまちづくりの推進や防火・防災意識の高揚を図るもの。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 防火防災に対する市民意識が高まる中、幅広い年齢層への効果的な広報活動が求められている。新型コロナウイルス感染症によるイベント制限が無くなり、演奏依頼が増加している。 (見直しや改善等の経過) コロナ禍前と同様の広報活動になるように取り組んでいる。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民に対し
目的(何のために)	広報活動による防火・防災意識の高揚のために、
手段(どのようなやり方で)	消防音楽隊の演奏活動を通じて、
成果(どのような状態にするのか)	安心、安全に暮らすことのできるまちづくりを推進するとともに湖都「大津」のイメージアップに貢献する。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		4,994	4,988	5,073	5,232	5,232	5,232	5,232
事業費		314	308	393	552	552	552	552
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		314	308	393	552	552	552	552
人件費計		4,680	4,680	4,680	4,680	4,680	4,680	4,680
事務・技術（人）		0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
技能労務（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0243
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 2301 消防局消防総務課
事務事業番号 00261 消防音楽隊事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-31-00-01-00	消防音楽隊事業費	消防局消防総務課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) 訓練回数	回	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00
		19.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 演奏回数	回	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
		13.00	17.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 演奏実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		86.67	113.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】						
評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		防火防災意識の啓発と市民に身近な広報活動として効果的である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		演奏回数は、目標値を超えている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		必要最小限の全体訓練で演奏を実施し、費用対効果を高めている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		市民の防火防災意識の高揚に有効な手段である。			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	コロナ禍が終わり、演奏依頼が増加しており、演奏回数は目標値を超えている。 今後も市民の付託に応えられるよう、訓練のあり方及び派遣内容や演奏方法等を検討しつつ、音楽を通じた広報活動として事業を継続していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	音楽隊による広報活動は、幅広い年代に火災予防を啓発するための有効な方法である。今後も引き続き効率的かつ効果的な消防広報活動を推進していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	2301	消防局消防総務課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	00261	消防音楽隊事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号 0244
評価年度 令和 6年度
所属 2301
事務事業番号 00266
進捗区分 評価完了
消防局消防総務課
団員消防活動事業

所属長名 吉村 紀男
記入者 山本 勝巳

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	021	災害に強いまちづくりの推進				
取組の方向性	002	地域防災力の向上				
事務事業	006	団員消防活動事業				
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律					
事業概要	(事業概要) 消防団員は、特別職の地方公務員として市民の生命・身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災または地震等の災害を防除し、これらの災害に因る被害を軽減することをその任務としており、これらの消防団員の報酬及び災害出勤等に伴う費用弁償並びに福利厚生事業を展開するとともに、消防団員の確保に努める。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 近年、災害は激甚化・頻発化・広域化し、いつ起こるかかわからない自然災害が頻発する中、平成25年12月、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行され、市民の消防団に寄せられる期待は大きい。 (見直しや改善等の経過) 退団者の被服等を有効活用するため、「予備被服エコバンク」制度を継続し、経費削減に努める。 令和5年度以降、各種防火・防災訓練などの市民活動が再開されたことにより、訓練回数が増加した。 消防団員の確保を目的に、令和6年度12月に分団長以下の定年を65歳から70歳に引き上げた。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	消防団員に対し
目的(何のために)	市民生活の安心安全を確保するため
手段(どのようなやり方で)	消防団員の報酬と費用弁償及び消防団活動に必要な被服や消耗品等の支給と公務災害への身分保障により
成果(どのような状態にするのか)	円滑な消防団活動を展開するとともに、継続的な消防団員の確保に繋がる。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		159,941	128,153	145,994	131,807	153,248	131,807	153,248
事業費		153,981	121,473	139,314	125,127	146,568	125,127	146,568
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		47,172	15,295	32,572	17,579	38,485	17,579	38,485
一般財源		106,809	106,178	106,742	107,548	108,083	107,548	108,083
人件費計		5,960	6,680	6,680	6,680	6,680	6,680	6,680
事務・技術(人)		0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
技能労務(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)		0.40	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
嘱託(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0244
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 2301 消防局消防総務課
事務事業番号 00266 団員消防活動事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-10-51-00-01-00	団員消防活動費	消防局消防総務課
01-45-05-10-51-00-05-00	団員報酬等費	消防局消防総務課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) 消防団員定数	人	1,313.00	1,313.00	1,313.00	1,313.00	1,313.00	1,313.00	1,313.00
		1,214.00	1,188.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 訓練指導回数	回	62.00	62.00	62.00	62.00	62.00	62.00	62.00
		89.00	74.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 充足率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		92.46	90.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 訓練指導率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		143.55	119.35	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
	B		ほぼ妥当である			
	C		あまり妥当ではない			
	D		妥当ではない			
	評価理由		消防組織法で消防団員は市町村の規則で定めるよう明記され妥当			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
	B		やや上がっている			
	C		あまり上がっていない			
	D		上がっていない			
	評価理由		団員数確保は全国同様に難しい状況だが、訓練指導は充実している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
	B		やや効率的である			
	C		あまり効率的でない			
	D		効率的でない			
	評価理由		消防団が住民指導を実施することで地域防災力の向上につながる			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
	B		やや貢献している			
	C		あまり貢献していない			
	D		貢献していない			
	評価理由		市民を災害から守る消防団員の強化は災害に強いまちづくりに貢献			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	引き続き、コロナ禍以前に実施していた各事業を消防団員の負担軽減対策を考慮しつつ、消防団と調整し、積極的に推進していくほか、地域防災指導員を中心として住民に対する訓練指導や防火・防災に関する啓発などを進めていくことで、消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図る。 消防団員数については、大津市消防出初式や各地区での催しや訓練を通じて、消防団員募集を呼びかけることにより、消防団員の確保対策に努める。また、大津市においても全国と同様に、消防団員数は例年減少傾向にあるが、令和6年度中に消防団員の定年引上げを行ったことにより、今後の団員数の減少傾向が鈍化することが期待される。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	地域防災力の向上のため、消防団が地域の中核となり、地域住民の防災に関する意識を高める必要がある。このことから、継続して消防団員の確保を進めるとともに、安全で迅速に消防団活動ができるよう環境等を整備し、消防団を中核とする地域防災力の一層の充実強化を図り、市民の安全確保に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	2301	消防局消防総務課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	00266	団員消防活動事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号0245
評価年度令和 6年度
所属2301
事務事業番号00268

進捗区分評価完了
消防局消防総務課
団消防車両等整備事業

所属長名吉村 紀男
記入者山本 勝巳

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	021	災害に強いまちづくりの推進				
取組の方向性	002	地域防災力の向上				
事務事業	008	団消防車両等整備事業				
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分		対象		
根拠法令等	消防力の整備指針					
事業概要	(事業概要) 消防団活動に必要な不可欠な資機材である消防団車両を整備することにより、災害防ぎょ活動の強化を図り、市民の生命・身体及び財産を保護するとともに、水火災又は地震等の災害を防除し、これらによる被害の軽減により、市民生活の安心・安全を確保する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 近年、災害が激甚化・頻発化・広域化する中で、消防関係機関に寄せられる市民の期待は年々大きくなっている。 (見直しや改善等の経過) 消防団車両等については、計画の実現性や費用対効果を考慮し、時代に即した改善に取り組んできた。 近年では、新免許区分に対応した普通免許区分で運転可能な消防ポンプ自動車の導入や地域性を考慮し、消防ポンプ自動車を小型ポンプ積載普通自動車に変更して更新するなどしている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	消防団車両等（消防ポンプ車、小型動力ポンプ積載車、小型動力ポンプ）について
目的(何のために)	市民の安心・安全な生活を確保するため
手段(どのようなやり方で)	更新と維持管理により
成果(どのような状態にするのか)	消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	3,130	65,037	78,498	64,393	57,828	44,028	57,828
事業費	1,570	63,477	76,938	62,833	56,268	42,468	56,268
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	58,500	71,200	45,000	52,200	38,400	52,200
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,570	4,977	5,738	17,833	4,068	4,068	4,068
人件費計	1,560	1,560	1,560	1,560	1,560	1,560	1,560
事務・技術（人）	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0245
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 2301 消防局消防総務課
事務事業番号 00268 団消防車両等整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-10-61-00-01-00	団消防車両等整備費	消防局消防総務課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) 消防ポンプ車又は小型ポンプ積載車の新規購入又は更新	台	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 小型動力ポンプの新規購入又は更新	台	0.00	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 消防分団数に対する消防ポンプ車等の実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 小型ポンプの実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		大規模災害に備え、各学区への分団車両配備は妥当			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		消防団車両を中心とした活動により地域防災力は向上している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		車両再編計画に基づき効率的に更新している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		防災力の要である消防団車両等更新は災害に強いまちづくりに直結			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	消防団車両等の更新整備については、地域防災力の充実強化に欠かせない事業であることから、「大津市消防団車両等再編計画」に基づき、消防団と調整を図り、現在配備している車両等の老朽化の状況等も鑑み、適正に更新整備していく。 令和6年度に更新予定であった分団車1台、小型ポンプ積載車1台については、部品供給不足などの要因により、車両製造数が全国的に減産したため年度内の納期に調達できないことから、令和7年度（債務負担・繰越）に更新予定。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	近年、激甚化・頻発化・広域化する災害に伴い、消防団による現場活動の必要性は年々高まっている中、消防団車両等の更新整備については、地域防災力の充実強化に欠かせない事業である。社会情勢を注視しつつ引き続き、消防団と連携を図りながら、「大津市消防団車両等再編計画」に基づき更新整備していく。		

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	2301	消防局消防総務課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	00268	団消防車両等整備事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号0246
評価年度令和 6年度
所属2301
事務事業番号02526

進捗区分
消防局消防総務課
防火衣更新事業

評価完了
所属長名 吉村 紀男
記入者 生田 和子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします			
施策	023	消防・救急体制の充実			
取組の方向性	001	消防力の充実			
事務事業	014	防火衣更新事業			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市消防吏員の服制に関する規則、大津市消防吏員の被服等の貸与に関する規程				
事業概要	(事業概要) 平成26年から貸与している防火衣は、耐用年数が経過しており経年劣化及び損傷が多くみられる。 また、総務省消防庁において、防火装備の性能基準を示したガイドラインが策定されており、令和4年4月に更新されたことから、近年の激甚化・頻発化・広域化する災害から活動隊員の安全を確保するために防火衣及び活動服を更新し、消防活動体制の強化を図るもの。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 近年、建物の高気密化・高断熱化により、火災現場における消防吏員の活動危険が高まっている。建物構造と火災性状の変化に伴い、総務省消防庁においても個人防火装備の性能基準を示したガイドラインが更新された。 (見直しや改善等の経過) 防火衣は、令和5年度から順次更新しており、現場対応職員を最優先に更新するとともに、年次計画的に全職員分を更新する計画とした。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	総務省消防庁が示した個人防火装備のガイドラインに準じた防火衣及び活動服
目的(何のために)	あらゆる災害において活動する隊員の安全確保を図ることを目的とする。
手段(どのようなやり方で)	現場活動を行う可能性のある全職員分を、複数年度で計画的に更新する。
成果(どのような状態にするのか)	近年の災害状況に対応した活動が可能となり、消防活動体制が強化される。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	36,582	37,575	38,912	29,170	9,138	9,319	9,877
事業費	31,122	33,675	35,012	25,270	5,238	5,419	5,977
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	31,122	33,675	35,012	25,270	5,238	5,419	5,977
人件費計	5,460	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900
事務・技術(人)	0.70	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0246
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 2301 消防局消防総務課
事務事業番号 02526 防火衣更新事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-49-00-09-00	防火衣更新事業費	消防局消防総務課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)活動服更新数	着	90.00	105.00	102.00	110.00	108.00	113.00	124.00
		90.00	110.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)防火衣更新数	式	84.00	84.00	84.00	52.00	0.00	0.00	0.00
		84.00	84.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)活動服更新率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	104.76	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)防火衣更新率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		活動隊員の安全に直結する事業であり妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		年次計画的な更新で、成果目標が達成できている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		現場対応職員を優先し、計画的・効率的に更新できている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		活動隊員の安全が確保され、消防体制の充実につながっている			
	評価理由					

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	活動服及び防火衣は、現場で活動隊員の身を守る最も重要な装備であり、活動隊員の安全性を向上させることが、市民の安心・安全を守ることにつながる。 活動服は令和4年度から更新を始め、耐用年数が3年のため、今後も計画的に更新していく。 防火衣は令和5年度から現場対応職員を最優先に更新するとともに、年次計画的に全職員分を更新していく。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市民の安心・安全を確保するためにも、安全性の高い防火服及び活動服により災害現場における活動隊員の身を守ることが最も重要である。引き続き、計画的に更新していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	2301	消防局消防総務課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	02526	防火衣更新事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号 0247
評価年度 令和 6年度
所属 2353
事務事業番号 00224

進捗区分 評価完了
消防局予防課
自主防災組織等育成事業

所属長名 小田 浩文
記入者 武田 友紀子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	021	災害に強いまちづくりの推進				
取組の方向性	002	地域防災力の向上				
事務事業	004	自主防災組織等育成事業				
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	災害対策基本法、消防組織法、大津市災害等対策基本条例					
事業概要	(事業概要) 大規模災害に対する事前の備えと被害の軽減を目指して、学区自主防災会・地域（自治会）自主防災組織・女性防火クラブ連合会等の防災に関連する団体の育成に係る補助を行い、組織の活性化及び災害対応能力を強化させることにより、地域防災力の向上を図る。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 各種災害が激甚化、頻発化、広域化の傾向にあり、市民の公助に対する期待が高まるなか、自助・共助にかかる防災意識の醸成が必要である。 (見直しや改善等の経過) 補助事業を効果的に活用いただけるよう、地域の要望等を踏まえ申請対象者や補助対象となる資器材の見直しを随時行っており、令和6年度からは学区自主防災組織活動補助金の拡充を行った。また、令和3年度からは、防災関係団体等の連携を図ることを目的に地域防災力連携強化会議の開催を推進している。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	学区及び自治会の自主防災組織並びに女性防火クラブ連合会に対し
目的(何のために)	地震や土砂災害等の大規模災害時に被害の軽減を行うとともに、市民の生命を守り安心な生活を確保するため
手段(どのようなやり方で)	防火・防災資器材等をはじめとした、補助金の交付及び各種訓練指導を行い
成果(どのような状態にするのか)	公助に頼ることなく、自分の身は自分で守り（自助）、自分たちのまちは自分たちで守る（共助）という考えから自主防災活動を通じて、災害発生時の被害軽減を図る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	58,335	55,167	57,597	62,597	62,597	62,597	62,597
事業費	4,695	6,047	6,157	11,157	11,157	11,157	11,157
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	1,500	1,500	1,500	1,500
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,400	1,590	0	2,000	2,000	2,000	2,000
一般財源	3,295	4,457	6,157	7,657	7,657	7,657	7,657
人件費計	53,640	49,120	51,440	51,440	51,440	51,440	51,440
事務・技術（人）	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	1.20	0.40	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0247
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 2353 消防局予防課
事務事業番号 00224 自主防災組織等育成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-41-00-03-00	自主防災組織等育成事業費	消防局消防総務課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) 学区自主防災組織活動補助金利用数	組織	26. 00	26. 00	36. 00	36. 00	36. 00	36. 00	36. 00
		35. 00	36. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(活動) 地域における防災関係者会議数	回	20. 00	20. 00	20. 00	20. 00	20. 00	20. 00	20. 00
		29. 00	23. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(成果) 学区自主防災組織訓練実施率	%	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00
		72. 22	83. 33	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(成果) 訓練 1 件あたりに占める防災士の活動人数	人	1. 50	1. 50	1. 50	1. 50	1. 50	1. 50	1. 50
		2. 01	2. 79	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
	B		ほぼ妥当である			
	C		あまり妥当ではない			
	D		妥当ではない			
	評価理由		地域における防災力向上のため本市の財政支援は妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
	B		やや上がっている			
	C		あまり上がっていない			
	D		上がっていない			
	評価理由		補助事業等が自主防災組織の活性化と充実強化に有効である。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
	B		やや効率的である			
	C		あまり効率的でない			
	D		効率的でない			
	評価理由		補助事業により効率的に資器材を整備することが可能である。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
	B		やや貢献している			
	C		あまり貢献していない			
	D		貢献していない			
	評価理由		補助事業やフォローアップ研修等により充実強化に貢献している			
	評価理由					

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	学区及び地域の自主防災組織等への財政的支援により、自主的な防災活動を充実させ、自助、共助による地域防災力を強化することにより、災害による被害を軽減させる防災体制を構築する。また、地域における防災関係団体等について連携体制の構築を図るとともに市民主体による防災訓練を支援し地域防災力の向上を推進する。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	自主防災組織への財政支援を継続するとともに、市民主体の効果的な訓練の実施と地域防災の充実強化を目的とした防災関係団体等による連携強化会議の開催を支援し災害に強いまちづくりを推進していく。		

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	2353	消防局予防課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	00224	自主防災組織等育成事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号 0248
評価年度 令和 6年度
所属 2353
事務事業番号 02372
進捗区分 評価完了
消防局予防課
火災予防業務事業

所属長名 小田 浩文
記入者 駒井 克哉

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023	消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001	消防力の充実				
事務事業	005	火災予防業務事業				
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分		対象外		
根拠法令等	消防法、火災予防条例、火災予防査察規程、火災予防違反処理規程、火災調査規程					
事業概要	(事業概要) 防火対象物や危険物施設における防火・防災対策について適正な指導を行い、建物利用者の安全確保及び危険物施設に関連する事故防止の徹底を図る。また、火災の出火原因や傾向を分析し、効果的な広報を展開するとともに実効性の高い訓練指導を行い、住宅火災等の発生防止に努める。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 市内の防火対象物数に大きな増減はないが、危険物施設数については減少傾向にある。火災件数は減少傾向にあるものの、住宅火災についてはここ１０年間は横ばいで推移している。 (見直しや改善等の経過) 消防法令違反に対しては、適正に違反処理（行政指導、行政処分）を行い早期是正を促進するとともに、自主防火・防災管理体制の強化を推進している。また、発生した火災原因の傾向と対策を分析し、類似火災の防止対策に取り組み効果的かつ多様な火災予防啓発を進めている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	防火対象物、危険物施設等の事業所及び住宅（市民）を対象として
目的(何のために)	防火対象物や危険物施設の火災及び事故発生要因の排除及び、住宅火災減少のために
手段(どのようなやり方で)	防火対象物及び危険物施設への立入検査を年間業務計画に基づき適正に行うとともに、住宅火災の出火原因や傾向を分析し効果的な広報や市民主体による実効性のある訓練指導を行うことにより
成果(どのような状態にするのか)	防火対象物及び危険物施設に対して消防法令違反を是正し、防火・防災対策の向上を図るとともに、類似火災や住宅火災の発生を防止することで安心・安全に暮らすことのできるまちづくりの実現を図る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	225,248	220,867	209,484	210,420	210,420	210,420	210,420
事業費	1,880	2,097	2,044	2,980	2,980	2,980	2,980
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,880	2,097	2,044	2,980	2,980	2,980	2,980
人件費計	223,368	218,770	207,440	207,440	207,440	207,440	207,440
事務・技術（人）	27.76	27.75	26.00	26.00	26.00	26.00	26.00
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	1.20	0.40	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

令和 7年 9月18日

整理番号 0248
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 2353 消防局予防課
事務事業番号 02372 火災予防業務事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-41-00-05-00	火災予防業務費	消防局消防総務課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)防火対象物等の立入検査数	回	2,200.00	2,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
		2,534.00	2,341.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)施設及び設備等を活用した専門性の高い火災原因調査件数	件	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
		33.00	34.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)立入検査の指摘事項に対する是正数	件	3,000.00	3,000.00	1,600.00	1,600.00	1,600.00	1,600.00	1,600.00
		3,258.00	3,136.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)製品火災の原因判定率	%	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		97.56	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由	出火防止、安全対策の指導にかかる事業主体、手段は妥当である。				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由	安心、安全に暮らすことのできるまちづくりに寄与している。				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由	社会情勢を見極めて適正かつ効率的な実施方法に努めている。				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由	予防対策の充実強化に努めている。				
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	防火対象物及び危険物施設に係る防火・防災について安全性を向上させるため、消防法令違反に対する是正指導が行える組織体制の確立に努める。来年度以降は、火災危険等を総合的に評価し優先順位をつけるとともに、査察計画を随時見直し、質の高い立入検査と効率的・効果的な是正指導を実施していく。また、自主防火・防災管理体制の強化を図り、事業所等における持続可能な出火防止及び事故防止対策を推進する。火災の原因調査については、高度な分析機器等を有効に活用して鑑識及び燃焼実験を行い出火原因の究明に努める。また、その調査結果を活用して積極的に効果的な広報活動を実施し類似火災の発生防止を図る。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	防火対象物及び危険物施設に対しては、自主防火・防災管理体制の強化が図られるよう引き続き適正に指導等を行い施設利用者等の安全確保を推進していく。また、効果的な火災予防啓発を展開し、住宅火災防止対策の徹底を図り、安心・安全に暮らすことのできるまちづくりを推進していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	2353	消防局予防課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	02372	火災予防業務事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号0249
評価年度令和 6年度
所属2354
事務事業番号00278

進捗区分 評価完了
消防局警防課
消防車両等整備事業

所属長名 中邑 康高
記入者 山中 創

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします			
施策	023	消防・救急体制の充実			
取組の方向性	001	消防力の充実			
事務事業	008	消防車両等整備事業			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	消防組織法	消防法	消防力の整備指針		
事業概要	（事業概要） 激甚化、頻発化、広域化する災害に、迅速かつ確に対応する能力を維持するため、消防車両、救急車両、消防用機械器具等の更新、並びに修繕・整備が不可欠となる。このことから消防車両等整備計画に基づき、年次計画的に車両及び車両に積載する消防用機械器具の更新、はしご車等の定期的なオーバーホールを実施する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 激甚化、頻発化、広域化する災害に加え、テロ災害の危険性も高まるなど、刻々と社会環境は変化している。また、救急件数の増加、救急業務の高度化など市民のニーズは増大している。 （見直しや改善等の経過） 災害の様態を考慮した車両設計や更新計画を策定するとともに、オーバーホールなどのメンテナンスを行うことで、効率的な維持管理に努めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	消防・救急車両及び積載消防用機械器具等を
目的(何のために)	激甚化、頻発化、広域化する災害に迅速かつ的確に対応するために
手段(どのようなやり方で)	年次計画に基づき更新及び大規模な修繕整備を行い
成果(どのような状態にするのか)	災害現場において、迅速・確実に、かつ最大限にその能力を発揮させ、災害による被害の軽減を目指す。

【コスト】 （単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	464,150	254,048	109,214	83,036	114,900	118,900	256,900
事業費	460,250	250,148	105,314	79,136	111,000	115,000	253,000
国庫支出金	77,022	0	18,966	13,433	4,460	0	69,620
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	193,100	230,166	73,700	12,000	90,600	91,400	159,300
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	190,128	19,982	12,648	53,703	15,940	23,600	24,080
人件費計	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900
事務・技術（人）	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号0249
評価年度令和 6年度
所属2354
事務事業番号00278

進捗区分
評価完了
消防局警防課
消防車両等整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-26-00-01-00	消防車両等整備費	消防局消防総務課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) 消防・救急車両更新台数 (消防車、救急車)	台	6.00	4.00	4.00	1.00	4.00	4.00	1.00
		6.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 消防・救急車両更新計画に基づく更新実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		車両更新計画と実情に応じて更新している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		車両の更新及び維持管理により成果が上がっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		改善点を見つけた上で効率的に事業推進できている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		計画的で実情を考慮した更新整備により目標達成に貢献している			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	車両については、車両整備計画に基づき実情に応じて効果的に更新する。車両、資器材の更新時には、コストや必要性を見極めて仕様書を作成する。また、災害対応能力を維持できるようメンテナンスを継続する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	災害対応力を維持するには、車両等の更新整備事業は極めて重要である。引き続き車両更新計画に基づき整備を進めていく。また、地域の特性を踏まえ、効率的、効果的な車両運用に努め、災害対応に支障のないよう、維持管理のための整備を徹底していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	2354	消防局警防課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	00278	消防車両等整備事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号0250
評価年度令和 6年度
所属2354
事務事業番号00279

進捗区分 評価完了
消防局警防課
消防水利施設整備事業

所属長名 中邑 康高
記入者 近澤 昌二

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023	消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001	消防力の充実				
事務事業	006	消防水利施設整備事業				
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	消防組織法	消防法	消防水利の基準			
事業概要	(事業概要)					
	火災発生時の消火活動を円滑に行うため、また、大規模災害に伴う火災発生時の消防水利確保のため、消火栓及び耐震性貯水槽等、消防水利施設の整備を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境)					
	耐震性貯水槽は、大規模な火災に繋がる危険性が高い地域への設置が必要であるが、設置するための用地確保が困難な状況にある。 また、既存の水利施設は老朽化が進み、維持管理のため更新、廃止が必要なものも出てきている。 (見直しや改善等の経過) 以前は学区ごとにバランスを考慮して設置してきたが、平成28年に糸魚川市で発生した大規模木造住宅密集地火災の教訓から、大規模な火災に繋がる危険性が高い地域に設置する長期計画とした。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	消火栓及び、耐震性貯水槽等の消防水利施設を
目的(何のために)	火災発生時の消火活動を円滑に行うため、また大規模災害に伴う火災発生時の消防水利確保のため
手段(どのようなやり方で)	消火栓については、水道配管の新設や維持管理に併せて設置及び修繕を行い、耐震性貯水槽については、大規模な火災に繋がる危険性が高い地域を捉えて整備し
成果(どのような状態にするのか)	火災発生時における被害の軽減を図る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	58,041	48,483	48,453	72,471	61,471	62,971	45,471
事業費	54,141	44,583	44,553	68,571	57,571	59,071	41,571
国庫支出金	0	0	0	3,996	3,996	3,996	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	5,133	1,500	20,704	10,800	13,500	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	54,141	39,450	43,053	43,871	42,775	41,575	41,571
人件費計	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900
事務・技術（人）	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0250
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 2354 消防局警防課
事務事業番号 00279 消防水利施設整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-15-66-00-01-00	消防水利施設整備費	消防局消防総務課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) 耐震性貯水槽の整備数（目標値隔年1基）	基	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
		0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 耐震性貯水槽設置数	基	0.00	79.00	79.00	80.00	81.00	82.00	82.00
		78.00	79.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		火災発生時の水利確保のため整備を推進することは妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		消火栓と耐震性貯水槽の整備により消防水利の充実が図れている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		調査設計と設置工事を隔年で行い計画的に整備できている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		火災発生時の消火体制が確保でき市民の安心安全に繋がっている			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （400文字）	木造の建築物が多く大規模な火災に繋がる危険性の高い地域において、火災発生時に有効となる設置場所を検討及び調査し、計画的に耐震性貯水槽の整備を行っていくとともに、水道配管の新設や維持管理に併せて消火栓の設置及び修繕を行い、消防水利の充実を図っていく。		

【部局評価結果】	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （400文字）	耐震性貯水槽の整備については、大規模災害に繋がる危険性の高い地域から可能な限り選定し、計画に基づき推進していく。		

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	2354	消防局警防課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	00279	消防水利施設整備事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号0251
評価年度令和 6年度
所属2354
事務事業番号00282

進捗区分 評価完了
消防局警防課
特殊災害活動体制整備事業

所属長名 中邑 康高
記入者 下田 明夫

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023	消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001	消防力の充実				
事務事業	010	特殊災害活動体制整備事業				
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	消防法	消防組織法	消防力の整備指針			
事業概要	(事業概要) 大規模自然災害をはじめ、山岳救助事故、水難救助事故などの特殊災害に的確に対応できる人材を育成するため、訓練環境等の整備を行い、災害対応体制を強化するもの。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 生活様式や余暇活動の多様化等により、山岳、水難救助事故が増加することに加え、自然災害も頻発しており、この分野に的確に対応できる隊員の育成が求められている。 (見直しや改善等の経過) 事案の多様化に伴い、活動環境も多様化している中、あらゆる災害に的確に対応するため、ＯＪＴや外部研修派遣、現地訓練、災害対応資機材整備等を行ってきた。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	救助隊員をはじめ、消防局職員に対し
目的(何のために)	大規模自然災害や水難・山岳救助事案などの災害による活動体制の整備と、災害による被害を軽減するために
手段(どのようなやり方で)	年間訓練計画に基づき、実践的な訓練を実施することによって
成果(どのような状態にするのか)	これらの災害に安全・的確・迅速に対応できる人材を育成し、市民の安心・安全な暮らしを確保する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	180,944	181,160	181,316	181,635	181,434	181,635	181,434
事業費	1,544	1,760	1,916	2,235	2,034	2,235	2,034
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,544	1,760	1,916	2,235	2,034	2,235	2,034
人件費計	179,400	179,400	179,400	179,400	179,400	179,400	179,400
事務・技術（人）	23.00	23.00	23.00	23.00	23.00	23.00	23.00
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0251
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 2354 消防局警防課
事務事業番号 00282 特殊災害活動体制整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-38-00-01-00	特殊災害活動体制整備事業費	消防局消防総務課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) 救助隊定期訓練回数	回	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00
		12. 00	4. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(活動) 水難救助訓練回数	回	10. 00	10. 00	10. 00	10. 00	10. 00	10. 00	10. 00
		10. 00	5. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(成果) 救助隊定期訓練実施率	%	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00
		100. 00	33. 33	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(成果) 水難救助訓練実施率	%	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00
		100. 00	50. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価	
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A	
			B	ほぼ妥当である			
			C	あまり妥当ではない			
			D	妥当ではない			
	評価理由		危険と隣り合わせとなる特殊環境での活動				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		B	
			B	やや上がっている			
			C	あまり上がっていない			
			D	上がっていない			
	評価理由		年間計画に基づく訓練回数の不足				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A	
			B	やや効率的である			
			C	あまり効率的でない			
			D	効率的でない			
	評価理由		年間計画に基づき実践的な訓練を実施				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A	
			B	やや貢献している			
			C	あまり貢献していない			
			D	貢献していない			
	評価理由		特殊災害への備えは市民の安心安全に繋がる				
	評価理由						

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	訓練時における安全管理体制の見直しや再発防止対策に取組み、指標に掲げる訓練回数の目標値を達成できなかった。安全管理体制や訓練内容を見直したなか訓練を計画し、大規模自然災害をはじめ、山岳事故、水難事故にも即応し、安全な活動及び次世代を見据えた隊員の育成も見据えて訓練を実施していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	大規模自然災害をはじめ、山岳事故、水難事故に即応するためには、人材育成及び次世代を見据えた観点から、計画的に隊員の育成を行う必要がある。安全管理体制の充実強化を図り、効果的な教育や研修、訓練を実施していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	2354	消防局警防課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	00282	特殊災害活動体制整備事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号 0252
評価年度 令和 6年度
所属 2354
事務事業番号 00284

進捗区分 評価完了
消防局警防課
消防救助業務事業

所属長名 中邑 康高
記入者 近澤 昌二

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023	消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001	消防力の充実				
事務事業	011	消防救助業務事業				
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	消防組織法	消防法				
事業概要	(事業概要) 火災をはじめ、各種災害に迅速かつ的確に対応するため、各部隊の災害対応訓練を実施することにより部隊活動体制の強化を図り、市民の生命、身体及び財産を各種災害から保護する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 近年、火災はもとより地震、洪水、土砂災害などの自然災害が頻発している。 (見直しや改善等の経過) 特別消火隊員を南消防署に配備し、火災発生時における人命救助と被害軽減を図るため、各隊が消火隊の教育訓練を実施している。また、複数隊合同の連携訓練も計画的に実施している。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	消防・救助資機材と各部隊を
目的(何のために)	各種災害に対応し、被害を最小限に留めるために
手段(どのようなやり方で)	年次計画的に資機材を整備し、各隊の連携を強化することにより
成果(どのような状態にするのか)	災害対応力の向上を図る

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	1,008,705	1,011,270	1,042,258	1,042,826	1,042,826	1,042,826	1,042,826
事業費	3,213	3,260	3,318	3,886	3,886	3,886	3,886
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,213	3,260	3,318	3,886	3,886	3,886	3,886
人件費計	1,005,492	1,008,010	1,038,940	1,038,940	1,038,940	1,038,940	1,038,940
事務・技術（人）	125.84	127.15	132.90	132.90	132.90	132.90	132.90
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	4.20	2.80	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0252
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 2354 消防局警防課
事務事業番号 00284 消防救助業務事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-49-00-04-00	消防救助業務費	消防局消防総務課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) 4 署 2 分署での年間訓練実施回数（目標 1 回/ 1 日）	回	2, 190. 00	2, 190. 00	2, 190. 00	2, 190. 00	2, 190. 00	2, 190. 00	2, 190. 00
		2, 203. 00	1, 650. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(成果) 4 署 2 分署での年間訓練実施率（基準 1 回/ 1 日）	%	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00
		100. 59	75. 34	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
	B		ほぼ妥当である			
	C		あまり妥当ではない			
	D		妥当ではない			
	評価理由		消防機関として資器材整備の整備と部隊活動の強化は妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		B
	B		やや上がっている			
	C		あまり上がっていない			
	D		上がっていない			
	評価理由		資器材の充実を図れているが部隊強化の訓練回数は不十分であった			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
	B		やや効率的である			
	C		あまり効率的でない			
	D		効率的でない			
	評価理由		年次計画により資器材整備や部隊強化を図ることは効率的である			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
	B		やや貢献している			
	C		あまり貢献していない			
	D		貢献していない			
	評価理由		資器材整備と活動技術向上により消防力の充実に貢献できている			
	評価理由					

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （400文字）	訓練時における安全管理体制の見直しや再発防止対策に取組み、指標に掲げる訓練回数の目標値を達成できなかった。安全管理体制や訓練内容を見直したなか訓練を計画し、各隊（指揮隊、消火隊、救助隊）の連携強化を推進し、安全管理体制の充実強化に努めるとともに、各種災害に対応できるよう資機材整備の充実を図り、災害対応能力の向上と被害の軽減に努める。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （400文字）	火災をはじめとする各種災害に対応するため、資機材整備の充実を図り、各隊の連携を強化するための訓練並びに安全管理体制を充実させ、災害対応能力の向上と被害の軽減に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	2354	消防局警防課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	00284	消防救助業務事業	

上段：目標値 下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号 0253
評価年度 令和 6年度
所属 2354
事務事業番号 00287

進捗区分 評価完了
消防局警防課
救急高度化推進事業

所属長名 中邑 康高
記入者 横江 大輔

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023	消防・救急体制の充実				
取組の方向性	002	救急救命体制の充実				
事務事業	001	救急高度化推進事業				
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	消防組織法	消防法	救急救命士法			
事業概要	(事業概要) 救急業務に対する市民ニーズが多様化するなか、指示医療機関である3病院と連携して平成28年度から派遣型救急ワークステーション（以下「WS」という。）を本格運用し、救急救命士を含む救急隊員の応急処置等について医学的な質の保証を図るなど、救急業務の高度化を推進している。また、新規救急救命士の養成及び救急救命士が高度な処置を行うための研修への派遣、並びにメディカルコントロール体制の充実強化を図っている。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 超高齢社会にあって、救急業務に対する市民ニーズが多様化・複雑化し、救急出動及び傷病者搬送件数が増加傾向にある。 (見直しや改善等の経過) 指導救急救命士による救急救命士の教育を行うとともに、WSによる救急救命士や救急隊員の研修体制を改善させている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	①救急隊員を ②救急救命士を
目的(何のために)	傷病者の救命率・社会復帰率を向上させるため 傷病者の後遺症の軽減、容態の悪化防止のため
手段(どのようなやり方で)	①WSへ派遣又は救急救命士養成所へ派遣し、新規救急救命士を養成することにより ②WSへ派遣又は薬剤投与や気管挿管等の高度な処置を行うための追加研修に派遣することにより
成果(どのような状態にするのか)	早期に質の高い救命処置を行える体制が築け、傷病者の後遺症軽減と容態悪化を防ぐとともに、心肺停止傷病者の救命率を向上させる。加えて、119番通報時の口頭指導体制の強化と事後検証体制の強化を図る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	373,080	373,283	373,719	374,005	374,005	374,005	374,005
事業費	10,380	10,583	11,019	11,305	11,305	11,305	11,305
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	10,380	10,583	11,019	11,305	11,305	11,305	11,305
人件費計	362,700	362,700	362,700	362,700	362,700	362,700	362,700
事務・技術（人）	46.50	46.50	46.50	46.50	46.50	46.50	46.50
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0253
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 2354 消防局警防課
事務事業番号 00287 救急高度化推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-36-00-01-00	救急高度化推進事業費	消防局消防総務課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) 救急救命士数	人	87.00	89.00	89.00	88.00	88.00	88.00	88.00
		86.00	88.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 気管挿管、アドレナリン投与等が実施できる救急救命士数	人	68.00	73.00	78.00	81.00	84.00	84.00	84.00
		68.00	72.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 救命率（心原性かつ目撃があった症例の1か月生存率）	%	16.70	10.70	10.70	10.70	10.70	10.70	10.70
		19.00	12.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 高度救命処置実施数	件	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00
		662.00	602.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
	B		ほぼ妥当である			
	C		あまり妥当ではない			
	D		妥当ではない			
	評価理由		消防機関が救急業務の質の担保等を行うのは妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
	B		やや上がっている			
	C		あまり上がっていない			
	D		上がっていない			
	評価理由		救命率は目標値を上回り、救命体制の高度化は継続している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
	B		やや効率的である			
	C		あまり効率的でない			
	D		効率的でない			
	評価理由		計画的に研修派遣を行い、病院実習はWSで効果的に実施できてい			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
	B		やや貢献している			
	C		あまり貢献していない			
	D		貢献していない			
	評価理由		高度救命処置が行える救命士を養成し体制の充実が進んでいる。			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	今後、定年退職等により現場で活動する救急救命士の人員が減少するため、新規救急救命士の計画的な養成と高度な救命処置が実施できる救急救命士を継続して養成する必要がある。また、派遣型救急ワークステーション等を通じて、病態判断と処置技術がより向上できるよう教育していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	増加する救急需要に対応し救命率を向上するためには、新規救急救命士の養成をはじめ、高度な救命処置（気管挿管、薬剤投与等）が実施できる認定救急救命士の養成は不可欠であるため、先を見据えた計画的な養成を図っていく。また、複雑、多様化する救急事案に対応するため、生涯教育を通じて質の向上を図るとともに、救急救命士を含む全救急隊員の教育体制を充実強化させていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	2354	消防局警防課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	00287	救急高度化推進事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号0254
評価年度令和 6年度
所属2354
事務事業番号02066

進捗区分
消防局警防課
救急業務事業

評価完了
所属長名
記入者

中邑 康高
横江 大輔

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023	消防・救急体制の充実				
取組の方向性	002	救急救命体制の充実				
事務事業	002	救急業務事業				
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	消防組織法	消防法				
事業概要	(事業概要) 多様化する市民ニーズに的確に対応するため、救急活動資器材の整備をはじめ、市民による応急手当の実施率の向上を目的に、救命講習をはじめとする応急手当の普及啓発を推進する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 救急件数が増加傾向にあり、救急資器材や医療用酸素等の消耗品需要が急増している。さらに、医療用資器材価格が上昇している。 (見直しや改善等の経過) 適切な救命処置の実施や市民応急処置の普及を図るため、資器材品目の見直し等による調達の合理化を進めている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	① 救急資器材等の整備及び消耗品を ② 小学校高学年から成人まで市民を対象としたA E Dの使用法を含む応急手当講習を
目的(何のために)	① 超高齢社会の進展による救急要請の増加に対応するため ② 心肺停止傷病者の救命率の向上を図るため
手段(どのようなやり方で)	① 年次的に整備・充実させることにより ② 積極的に学校や市民団体等へ普及し
成果(どのような状態にするのか)	① 市民から信頼される救急活動を実施する。 ② 受講者数を増加させる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	207,981	215,261	216,672	218,767	218,767	218,767	218,767
事業費	8,847	8,951	10,362	12,457	12,457	12,457	12,457
国庫支出金	670	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	2,380	2,130	2,720	2,780	2,780	2,780	2,780
一般財源	5,797	6,821	7,642	9,677	9,677	9,677	9,677
人件費計	199,134	206,310	206,310	206,310	206,310	206,310	206,310
事務・技術(人)	25.53	26.45	26.45	26.45	26.45	26.45	26.45
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0254
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 2354 消防局警防課
事務事業番号 02066 救急業務事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-49-00-07-00	救急業務費	消防局消防総務課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) A E Dの使用方 法を含む講習受講者数 (場所指定募集)	人	4,300.00	7,000.00	4,300.00	4,300.00	4,300.00	4,300.00	4,300.00
(成果) 市民による電気 ショックの実施率	%	5,529.00	4,573.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00
		11.40	29.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由	救急業務は法律で市町村業務となっており妥当である				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由	受講者数は減少したが、市民による電気ショック実施率が増加した				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由	講習では人形を一人1体用意して効率的に実施できている				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由	市民による電気ショック実施率の増加で貢献している				
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	超高齢社会を迎え、自宅や施設等において心肺停止状態となる傷病者が増加すると考えられ、その場に居合わせた市民等による応急手当が救命率に影響するため、応急手当実施率を増やす必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	救命率の向上には市民による応急手当実施率を向上させる必要があるため、効率的かつ効果的な救命講習会を実施するとともに、増加する救急需要を踏まえた救急車の適正利用についても、救命講習会をはじめとする各種講習会や防火指導等を通じて広報に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	2354	消防局警防課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	02066	救急業務事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号 0255
評価年度 令和 6年度
所属 2354
事務事業番号 02096

進捗区分 評価完了
消防局警防課
国際消防救助隊員育成事業

所属長名 中邑 康高
記入者 下田 明夫

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023	消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001	消防力の充実				
事務事業	013	国際消防救助隊員育成事業				
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	国際緊急援助隊の派遣に関する法律					
事業概要	（事業概要） 海外で大規模災害が発生した場合に、国際消防救助隊の登録消防本部として救助隊員を被災国に派遣するため、国の定める派遣体制を整えている。国際緊急援助活動に必要な教育訓練を実施するよう国の要綱に定められており、国際緊急援助活動のルールに遵守し知識及び救助技術の習得をさせる事業。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 海外でも大規模地震等が頻発し、日本の国際緊急援助隊救助チームの派遣体制の確保及び登録隊員は国際標準の救助技術や知識を備えている必要がある。 （見直しや改善等の経過） 登録隊員は原則、任期を４年単位として２年ごとに半数の隊員を更新している。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	全国７７消防本部５９９人のうち、大津市消防局が登録している国際消防救助隊員６人を対象に
目的(何のために)	日本国政府唯一の救助チームとして、海外で発生した大規模災害に派遣される国際消防救助隊登録隊員に対し、国際的に定められた標準的手法や知識・技術習得のために
手段(どのようなやり方で)	年間教育訓練計画を年度当初に定め、当該計画を実行していく。また、総務省消防庁等が主催する各種教育訓練へ登録隊員を派遣する
成果(どのような状態にするのか)	国際標準の救助技術を習得する事により、派遣時に他機関（海上保安庁、警察機関）とスムーズな連携が実施できる。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		19,908	20,046	19,905	19,905	19,833	20,049	19,977
事業費		408	546	405	405	333	549	477
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		408	546	405	405	333	549	477
人件費計		19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500
事務・技術（人）		2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50
技能労務（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0255
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 2354 消防局警防課
事務事業番号 02096 国際消防救助隊員育成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-38-00-03-00	国際消防救助隊員育成事業費	消防局消防総務課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) 年間教育訓練	回	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00
		12. 00	4. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(成果) 教育訓練実施率	%	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00
		100. 00	33. 33	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		登録消防本部として派遣体制を整える必要がある			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		B
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		各種教育訓練への派遣は実施できているが、内部訓練回数は不足			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		他消防本部と連携し効率的に訓練を実施できている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		国連機関の認証試験隊員として参加し、高い評価を得ている			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	訓練時における安全管理体制の見直しや再発防止対策に取組み、指標に掲げる訓練回数の目標値を達成できなかった。安全管理体制や訓練内容を見直したなか訓練を計画し、国際消防救助隊登録隊員の国際標準の救助技術や知識、技術等の習得、当市の災害対応活動に還元するとともに、円滑な出動態勢確保に繋げるため訓練を実施していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	大規模災害時における搜索救助活動技術は日々変化しており、いつ派遣要請があっても即応できるよう、継続して知識、技術等の錬磨に努めていく。		

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号0256
評価年度令和 6年度
所属2354
事務事業番号02634

進捗区分 評価完了
消防局警防課
大規模災害活動対応事業

所属長名 中邑 康高
記入者 下田 明夫

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023	消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001	消防力の充実				
事務事業	012	大規模災害活動対応事業				
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	消防組織法	消防法				
事業概要	(事業概要) 激甚化・頻発化・広域化する災害に加え、テロを含むNBC災害や予測困難な感染症等にも安全・的確に対応する必要がある。これら災害から市民の生命、身体及び財産を保護するため、かつ隊員の安全確保と負担軽減のため、消防活動資機材全般の更新整備を図るもの。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 激甚化・頻発化・広域化する災害に対する市民ニーズが高まっている。 (見直しや改善等の経過) 消防活動全般の資機材について、中長期計画および災害ニーズに応じた更新整備を図る。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	災害活動時に使用する活動資機材や保安資機材などを
目的(何のために)	激甚化・頻発化・広域化する災害の被害を軽減し、市民の生命、身体及び財産を保護するため
手段(どのようなやり方で)	中長期計画を基にした更新整備を進める一方で、災害ニーズに即応できるよう、消防・救急・救助の枠にとらわれることなく、災害現場活動に必要な資機材整備費を集約することで
成果(どのような状態にするのか)	安全、確実、迅速な救出救護活動と、活動隊員の二次災害防止、負担軽減が図られ、市民の安心、安全な暮らしを確保する。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	事業費	148,785	139,403	157,494	160,997	160,997	160,997	160,997
	国庫支出金	17,805	9,543	24,894	28,397	28,397	28,397	28,397
	県支出金	0	2,282	7,630	350	2,050	0	0
	地方債	0	53	0	71	0	71	0
	その他	0	1,976	6,600	0	0	0	0
	一般財源	0	53	0	71	0	71	0
		17,805	5,179	10,664	27,905	26,347	28,255	28,397
	人件費計	130,980	129,860	132,600	132,600	132,600	132,600	132,600
	事務・技術（人）	16.50	16.50	17.00	17.00	17.00	17.00	17.00
	技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用（人）	0.40	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0256
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 2354 消防局警防課
事務事業番号 02634 大規模災害活動対応事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-38-00-04-00	大規模災害活動対応事業費	消防局消防総務課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)消防用活動資機材更新件数（リース契約、備品契約数）	件	9.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00
		8.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)消防用活動資機材更新率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		88.00	75.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		消防組織法により、市町村は消防責任を負っている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		一部更新を1年延期したが、成果は十分に上がっている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		的確な活動と隊員の安全管理に繋がっている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		大規模災害の備えは市民の安心安全に繋がる			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	消防活動資機材の整備については、効果的・効率的に予算を執行するためにも、長期的な視点で活動資機材の更新を進めていく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	自然災害をはじめとする大規模災害に即応できるよう、年次計画的に災害ニーズに応じた活動資機材の更新整備を図っていく。		

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号0257
評価年度令和 6年度
所属2355
事務事業番号00274

進捗区分 評価完了
消防局通信指令課
通信指令業務事業

所属長名 佐山 佳克
記入者 杉原 武則

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023	消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001	消防力の充実				
事務事業	002	通信指令業務事業				
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	消防組織法、消防法					
事業概要	(事業概要) 高機能消防指令システム、消防救急デジタル無線設備及び消防支援情報システム等各種機器の機能を最大限に活用し、迅速、的確に出動指令を行うことを任務とし、被害の軽減及び救命率の向上を図るもの。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 災害は激甚化・頻発化・広域化するとともに、救急需要が増加傾向にある中で、緊急事態への即応体制や情報通信機器等の有効活用、適正管理など、高度で迅速・確実な通信指令業務の推進が必要である。 (見直しや改善等の経過) １１９番通報時から出動指令に要する時間短縮を目指し、通報受信訓練等を実施し職員の指令管制対応能力の向上を図ると共に、市民に対し消防局ＨＰ等を活用して、１１９番通報要領についての広報を行っている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民からの１１９番緊急通報に対し
目的(何のために)	災害による被害の軽減と救命率を向上させるため
手段(どのようなやり方で)	高機能消防指令システム、消防救急デジタル無線設備及び消防支援情報システム等の活用を図り
成果(どのような状態にするのか)	迅速、的確な指令管制業務による情報収集等から、被害の軽減と救命率を向上させる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	188,355	196,833	206,769	201,501	236,501	236,501	236,501
事業費	93,696	97,853	103,889	98,621	133,621	133,621	133,621
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	93,696	97,853	103,889	98,621	133,621	133,621	133,621
人件費計	94,659	98,980	102,880	102,880	102,880	102,880	102,880
事務・技術（人）	11.50	11.50	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.87	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

令和 7年 9月18日

整理番号 0257
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 2355 消防局通信指令課
事務事業番号 00274 通信指令業務事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-21-00-01-00	通信指令業務費	消防局消防総務課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)火災への出動指令数（災害真報）	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		94.00	74.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)救急への出動指令数（災害真報）	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		20,795.00	20,830.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)火災事案入電から出動指令までの時間（１１９番通報）	秒	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		186.80	115.32	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)救急事案入電から出動指令までの時間（１１９番通報）	秒	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		75.70	78.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		法令に基づく市民の安全確保を行う事業である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		被害の軽減と救命率の向上につながっている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		高機能消防指令システムの機能を有効に活用できていた。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		的確な指令管制により、被害の軽減、救命率の向上に貢献している			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	市民からの緊急通報に際して、迅速かつ的確に行う指令管制業務は、行政機関における市民対応の重要な位置づけにある。近年、移動体通信からの通報増加に伴い、正確な位置特定が困難なときや医療相談からの救急要請など指令までに時間を要すことから、救命率や災害被害の軽減に影響を及ぼす可能性がある。これらの課題に対して、計画的に導入してきたＤＸの効果的な活用やドクターカーをはじめ#７１１９の運用など関係機関との総合的な体制を構築していくことで、指令管制業務の高度化を図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	多様化する１１９番通報に対して、高機能消防指令システムを効果的に運用し、適正に指令管制業務を行い、市民の負託に応えていく。 また、安全に対する質の高い消防指令管制業務を目指し、災害による被害の軽減と救命率の向上を図っていく。		

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	2355	消防局通信指令課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	00274	通信指令業務事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

令和 7年 9月18日

整理番号 0258
評価年度 令和 6年度
所属 2355
事務事業番号 01921

進捗区分 評価完了
消防局通信指令課
通信機器等整備事業

所属長名 佐山 佳克
記入者 杉原 武則

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心・快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心・安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	023	消防・救急体制の充実				
取組の方向性	001	消防力の充実				
事務事業	003	通信機器等整備事業				
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	消防組織法、消防法					
事業概要	(事業概要) あらゆる災害から市民の安心・安全を確保するため、高機能消防指令システム、消防救急デジタル無線設備及び消防支援情報システム等の適正な維持管理を行うことにより、円滑で効率的な情報管理体制の確立を図るとともに、情報通信技術の進展に即した通信機器を整備し被害の軽減に努める。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 近年の災害は、激甚化・頻発化、広域化するとともに、救急需要は年々増加する中で、災害対応や情報収集等を迅速・的確に行うために、情報通信機器等の整備に努める必要がある。 (見直しや改善等の経過) 高機能消防指令システムの機能を最大限に活用すべく、職員の操作研修を進めて安定稼働を図り、市民等の被害の軽減及び救命率の向上に努める。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	指令管制業務に係る各システム及び情報通信技術の進展に即した通信機器を
目的(何のために)	災害発生時における的確な情報収集及び指揮命令系統の伝達機能を確保するため
手段(どのようなやり方で)	年次計画的に整備し
成果(どのような状態にするのか)	消防隊等への支援情報の提供による効率的な部隊運用により被害の軽減を図る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	64,334	60,033	556,138	142,401	152,401	142,401	142,401
事業費	21,434	17,133	509,338	95,601	105,601	95,601	95,601
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	1,743	478,200	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	21,434	15,390	31,138	95,601	105,601	95,601	95,601
人件費計	42,900	42,900	46,800	46,800	46,800	46,800	46,800
事務・技術（人）	5.50	5.50	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

令和 7年 9月18日

整理番号 0258
評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了
所属 2355 消防局通信指令課
事務事業番号 01921 通信機器等整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-21-00-04-00	通信機器等整備費	消防局消防総務課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)災害への出動指令件数（災害真報）	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		20,290.00	21,169.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)入電から出動指令までの時間（全災害種別119番通報）	秒	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		76.40	79.32	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		法令に基づく市民の安全確保を行う事業である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		災害時の的確な情報収集と効果的な情報共有が図れている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		情報収集と情報共有により被害の軽減に効率的である			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		情報通信機器の整備は効率的な消防活動を行う上で役割は大きい。			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （400文字）	消防指令システムの整備は、機器の適切な維持管理と職員の操作習熟度の向上を図ることで、多様化する災害通報への対応力を強化するとともに、映像通報などの活用について広く市民に広報することで、情報収集力・意思決定の高度化を図る。今後は、救命率の向上を目標とした新たなDXへの取り組みを行い、市民の安心・安全に直結するシステムの構築を進めていく。		

【部局評価結果】	総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （400文字）	市民の安心・安全を確保するため、迅速かつ的確な消防指令管制が実施できるよう、各種情報通信機器等の適正な維持管理に努め万全を期する。 また、次期消防指令システムの更新整備に向け、計画的な検討を実施していく。			

事務事業評価指標一覧

令和 7年 9月18日

評価年度	令和 6年度	進捗区分	評価完了
所属	2355	消防局通信指令課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	01921	通信機器等整備事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]